

## 令和3年度 外務省高校講座

6月15日（火）「総合的な探究の時間」において、外務省北米局日米安全保障条約課日米地位協定室課長補佐の川口耕一郎先生を講師として1年次生を対象に講演会、その後2年次生の「国際理解ゼミ」15名を対象に座談会を開催しました。川口先生は、米国留学そして在米国大使館勤務のご経験があり、外交官としてのキャリアの魅力についてお話しいただきました。世界で活躍する上で、日本の魅力を相手国に発信することや相手国の視点から日本を知ることの大切さを学びました。英語の上達には「しくじり経験」の積み重ねが大事で、川口先生の体験談も具体的にお聞きすることができました。更に、世界規模の社会課題を自分ごととして考えるためのヒントもお話しいただき、これからの探究活動に是非活かして欲しいと思います。

### <生徒感想>

- 川口さんのお話を聞いて英語の上達にはしくじり経験の積み重ねが大切である、という言葉が一番印象に残りました。私自身、英語の授業の時間に、英語を話す場面で言葉がつまってしまうたり、止まってしまったりすることがよくあります。「失敗する事=恥ずかしい事」という考え方になってしまっているからです。ですが、今日のお話をきいて考え方が大きく変わりました。「失敗することは成長のもとだ」というお話を聞き、英語を話す事へのハードルが少し下がりました。英語を話すということはこれからの社会において大切な事なので、積極的に英語を話し、力をつけていきたいです。
- 山形しかも西高に関わりがあるような方が活躍されていることを知り、自分も世界に関わるような仕事をしたいと思った。また、日本の事をただ伝えるのではなく、どうしたら伝わるのか相手国の視点から考えることも必要なんだと学んだ。外務省への印象が変わったと同時に、「外交官」の仕事に興味を持つことができた。

